

東京大学 留学プログラム報告書 (プログラム名:2012 IARU Global Summer Program)

所属学部/研究科・学年(留学時): 法学政治学研究科

留学先大学・参加コース: Oxford University: Global Challenges of the 21st Century

コース期間: 2012年7月25日 ~ 2012年8月21日

卒業・修了後の就職希望先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体 5.民間企業
6.起業 7.その他()

1. 留学先大学の概要

いうまでもなく、オックスフォード大学は、イギリスのオックスフォードに所在する総合大学である。英語圏では最古の大学であり、ケンブリッジ大学と並び各種の世界大学ランキングで常にトップレベルの優秀な大学として評価される世界有数の名門大学である。

2. 留学の動機

私が IARU GSP への参加を思い立ったきっかけと動機は、以下の二点です。

第一に、来日後、私は東京大学で国際経済法の研究を深めるとともに、法律事務所でのインターンシップを通じて実務を知る努力を重ねてきました。これらに従事している間に、世界経済の相互依存が一層深化する中で、東アジアのこのみを勉強するのでは不十分であるということを実感しました。そのため、世界の最先端に行く欧米の最高学府の著名な教授の指導の元で、世界各国から集まった優秀な学生と交流、討論することにより、今まで勉強してきた知識に対する理解を深めることができると確信しております。

第二に、去年ヨーロッパで二ヶ月間の短期留学を経て、様々な価値観を楽しく学ぶことができ、今までとは異なった発想や考えも沢山湧いてきました。これからも海外留学を通じ、さらに多くの知識及び経験を身につけたいと考えております。従って、私は IARU GSP への参加を強く希望します。

3. 留学の準備

①プログラムへの参加手続き(申請にあたってのアドバイスなど)

1) 一回応募して駄目になっても諦めずに二度、三度応募してみましょう。

2) 英語のテストの準備を早めにしておくべきです。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ビザが必要とする留学生は早めにビザ申請の手続をした方がいいと思います。

③保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

日本の保険会社は留学生を対象外とするので、母国の保険会社から早めに保険を入手しましょう。

④留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

履修・単位などの手続は所属の学部・研究科で行っています。英語版の成績書、在学証明書、卒業証明書などを早めに入手しておきましょう、派遣先で使用する可能性があるからです。

⑤語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

英語レベルについて、読解と聴解はいうまでもなく、書く話す能力も身につけなければなりません。

⑥日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

旅行するときのガイドブックは大事です。

4. 留学生活について

①住居(住居の種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

オックスフォードの場合は、寮を提供していただきました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

オックスフォードでの生活環境は最高です。気候も良く、学習環境もしっかり整備されており、交通機関も便利で、美味しいと言えませんが、一日三食提供されます。クレジットカードに関して、私の場合は、手数料を取られるのが嫌でしたので、現金を持っていきました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

オックスフォードは大学の町ですから、治安はいいです。健康管理については、睡眠を十分取れば大丈夫です。

④留学に要した費用とその内訳(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

日本とイギリスの間の往復の航空賃はかなり高く(15万円)、早めに入手の方が得します。私の場合は、学費と生活費は奨学金で充当したので、娯楽費は週 100 ポンド持っていれば十分です。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額など)

私の場合は、オックスフォードから奨学金をいただきました。学費と生活費が免状されました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

正直に、勉学はかなりきつかったので、スポーツなどをする余裕がありませんでしたが、プログラムが終わってから少し旅行しました。

5. 学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。)

科目が多すぎます。ある一科目を単位認定と申請せずに、授業科目を全てまとめて 2 単位認定の申請を行うつもりです。

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

毎日朝から授業、ゼミがあります。毎週レポートを出し、ディベートがありました。最終プレゼンテーションもありました。要するに、かなりきつかったです。一番印象に残っている授業は「21 世紀の人類が直面する危機」です。

③学習・研究面でのアドバイス

研究内容について渡航前に聞いておき、資料を調べてから行くべきです。

④語学面での苦労・アドバイス等

短時間で大量の資料を読んで分析してから文章にするのは決して簡単なことではありません。

6. 留学先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

責任感が強い RA が最初から最後までついていました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

全て最高な設備を整えています。そのお陰で、とても心持ち良く勉強できたと思います。

8. その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

出版物をあまり見ておりませんでした。先輩からたくさん情報を聞くのが大事です。

②今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

IARU はとても有意義なサマーコースなので、是非挑戦してみましょう。

④その他東京大学のホームページ等に掲載可能な留学中の写真があれば添付してください。